

函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会

第11回会議 会議録（要旨）

1 日 時

令和2年3月6日（金）（予定開催日 令和2年3月10日（火）から変更）

※書面開催につき全メンバーへの議事内容照会メールの到達日をもって開催日とみなすこととした。

2 意見聴取メンバー

メンバー：崎野部会長，松野副部会長，大内メンバー，星野メンバー，金崎メンバー，岡田メンバー，熊倉メンバー，石井メンバー，小平メンバー，吉荒メンバー，保坂メンバー，亀谷相談役

3 議 事

○報告事項

(1) はこだて医療・介護連携サマリー モニタリングの結果について

○資料により説明の上，回答書に下記の意見があった。

星野：薬剤師会

・資料1 モニタリング<所属機関>を拝読して件数が大きく変わりなく推移しており平均的になったと思いました。これ以上増やすということであれば，何かしらのアピール，研修会，事例報告が必要かと思いました。

熊倉：地域医療連携

・モニタリングの質問項目について，使っていない機関の方に今後使ってもらうための「きっかけ」となるような結果もフィードバックすることで，使用機関の増加に繋がらないかと考えます。

例えばですが，現在の内容に追加して，使ってみた上でのメリットや成功体験などを募ってみたり，当初使ってなかった（使えなかった）けれど，こういう方法で使用に至りましたの様な意見を募ってみることで，現在のツールを使っていない機関に対して，使用実現までのイメージ，使用後のイメージをより想像しやすくできると思います。ご意見や見直しという問いかけをすると回答としてマイナスの言葉が多くなりがちかと思しますので，プラスの声もバランスよくフィードバックすることも今後検討していけないかなという意見でした。

(2) 令和元年度 入退院支援連携強化研修会について

○資料により説明の上，回答書に特に意見はなかった。

○協議事項

(1) はこだて医療・介護連携サマリーQ&A及びモニタリング集計結果について

○資料により説明の上、回答書に下記の意見があった。

星野：薬剤師会

・記載しきれない事柄については応用ツール⑱特記事項を活用するとの解釈でおりますが、十分に伝わらない事が現状ではないかと思えます。そこで応用ツール⑱を後ろではなく前の方にしてみてはいかがでしょうか。（又、問題発生するかもしれませんが）又は応用ツール⑱の記載例を出してみてはいかがでしょうか。

熊倉：地域医療連携

・Q&A集を拝見するなかで、皆さん割としっかり枠に当てはめようとして困難さや使いにくさを感じている方が多いように思います。

回答にも多く出てくるように、⑱の応用ツールを使いやすいようにもう少し自由に使ってもらっていいんですよ！というアナウンスを改めて実施する必要もあるのかと思うところです。